

《承認済》

第7回 碓井中学校区小中一体型校施設整備協議会 会議録

1. 審議会等の名称 平成30年度 碓井中学校区小中一体型校施設整備協議会
2. 開催日時 平成31年1月9日(水) 19:00~20:00
3. 開催場所 碓井小学校2階 グルメルーム
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 非公開の理由(会議を非公開とした場合のみ)
6. 出席者
 - (1) 委員
会長 末吉進一
副会長 高松美紀
委員 山口朝光、田中豊和、北村晃一、中村一宏、松隈進
永田秀彦、藤井隆昭、福田豊彦、石場広規、笠原浩司
 - (2) 事務局
学校教育課長 柴田きよみ、学校教育課参事 大森雅明、学校教育課長補佐 北富真治、
学校教育課長補佐 赤坂晋、教育企画係長 山本匡貴、教育企画係 中島貴祐
教育企画係 山口陽子
 - (3) 関係者
※碓井中学校区・稲築中学校区小中一体型校施設整備基本計画策定業務受託業者
株式会社 海渡設計
7. 傍聴人数(会議を公開した場合のみ) 0人
8. 議題及び協議の内容
 - 【議題】
 - 1 その他基本計画作成に必要な事項について
 - 2 その他
 - 【協議の内容】
 - 1 その他基本計画作成に必要な事項について
 - その他基本計画作成に必要な事項について、資料10に沿って説明を行った。(事務局)説明を受け、協議を行い、次のような質問や意見が出た。(委員)
 - 学校への送迎時に車の乗り入れで事故の例はないのか。
→小学校は暗黙の了解で、一方通行になっている。新しい校舎になった時にも動線を分ける配慮は必要だと思う。中学校は校舎内に車両を入れていない。事故は起こってないが、車を入れると交差する箇所が生じるため危険。現在は頻繁に50台程

- 度の送迎があり、校舎下の一本道に並んでいるのが現状である。(委員)
- 小学校正門の前は、両側が坂になっており、中学校のように駐車できないので敷地内に一方通行のラインなど車両動線をしっかり確保してほしい。
 - 通学距離の遠さや、防犯面から、自転車通学を許可してはどうか。自転車の乗り方の教育もあわせて行ってほしい。
 - 自転車通学は、最初の段階でしっかりとルール作りをしなければならない。
 - 門前の交差点は道幅が狭く、通学路としては危険。通学路の見直しを行ってほしい。
→門前の交差点については、通学路安全点検協議会の中でも危険箇所としてあがっており、学校教育課としても危険箇所として共通認識を持っている。よって、土木や警察に改善を要望しているが具体的な取り組みが成されていないのが現状である。(事務局)
 - 敷地内に車両に対する分かりやすい表示板、案内板を多く設置してほしい。
 - 敷地内道路には凹凸を作るなど車両のスピードが出せないような対策をしてほしい。
 - 敷地内では車両の動線と児童生徒の動線が交わらないようにしてほしい。
 - PTAも送迎台数の減らし方や自転車通学の課題など、開校時にスムーズな移行が出来るような取り組みをしていかないといけない。
 - 自転車通学の最終的な決定はどこがするのか。
→学校長が行う。(委員)
 - 子どもたちの荷物が非常に多く、重い。学校での置き勉の検討は何かされているのか。
→中学校は教科書の持ち帰りを原則としているが、技術など置いて帰っても良い教科のすみ分けはしている。5教科に関しては、持ち帰りの取り決めをしている。
(委員)
 - 自転車通学はまだ十分に時間があるため、学校の方で十分に検討してほしい。
 - 他校の自転車通学の状況はどうなっているのか。
→嘉穂中学校と稲築中学校は、距離ではなく、申請によって許可している。また、自転車の安全点検や自転車の乗り方教室も定期的に行っている。(事務局)
 - 自転車通学が可能になれば子どもたちの荷物の負担も減るのではないか。
 - 子どもたちの荷物を少しでも減らせるようなアイデア、対策を考えてほしい。
 - 駐車場の台数が限られているため、自転車通学や教科書を置けるようにすることで送迎を減らし駐車台数を減らせるのではないか。

9. 配布資料

- (1) レジюме
- (2) 第4回碓井中学校区小中一体型校施設整備協議会 会議録（修正版）
- (3) 第6回碓井中学校区小中一体型校施設整備協議会 会議録
- (4) 第7回碓井中学校区小中一体型校施設整備協議会 資料
【資料10】その他基本計画作成に必要な事項について
- (5) 第8回碓井中学校区小中一体型校施設整備協議会の開催について